

2009年4月3日

東北大学に「環境機能利用工学寄附講座」を開設

三菱マテリアル株式会社(本社:東京都千代田区、社長:井手明彦、資本金:1,194億円、以下「三菱マテリアル」)は、ますます複雑化・深刻化する地球環境問題の解決に貢献するために、平成21年4月1日付で、国立大学法人東北大学(総長:井上明久、以下「東北大学」)大学院工学研究科土木工学専攻に「環境機能利用工学寄附講座」を設置致しました。この寄附講座開設により、バイオテクノロジーを活用した排水浄化など低コスト、低エネルギーの環境技術を開発するとともに、持続性のある地球の未来を切り開く人材の育成を行ってまいります。

本寄附講座は、三菱マテリアルが有する優れた機能を持つ材料、高効率の水・土壌環境浄化技術を、東北大学の推進する社会基盤デザイン、水環境デザイン、都市システム計画3分野の最先端の研究成果を活用して高度化し、低炭素社会の実現に資する基盤技術・システムの開発を目的としています。

研究テーマ:

- (1) 生態系の浄化機能を活用した排水浄化技術
- (2) 温暖化対策技術による気候変動緩和・適応方策
- (3) 生物・生態系の適応力を活用した地球温暖化対策技術
- (4) 基盤材料(セメントなど)のエコマテリアル化による低炭素社会の基盤施設・システム設計

教育目標:

- (1) 最先端の環境研究・技術開発および伝統的技術の効率化・オールドバイオエコテクノロジーのイノベーションを通じて環境問題の本質を理解し、解決に導くことのできる人材の育成。
- (2) 東北大学GCOE(*)「環境激変への生態系適応に向けた教育研究」(リーダー:中静透 教授)と連携して、生物・生態系の適応力を利用し、それを社会的・国際的にマネジメントできる人材の育成。

(*)GCOE: グローバルCOE(Center of Excellence)プログラムの略。国際的に卓越した研究拠点形成と大学院教育の抜本的強化を目的とした、文部科学省の大学教育改革支援事業。

【寄附講座の概要】

- (1) 講座名:「環境機能利用工学寄附講座」
- (2) 設置場所:東北大学大学院工学研究科土木工学専攻
- (3) 設置期間:平成21年4月1日から平成24年3月31日までの3年間
- (4) 寄附金額:総額90百万円
- (5) 担当教員(2009年4月現在):
 - 教授 相川良雄(三菱マテリアル 参与 前環境技術研究所長)
 - 教授 須藤隆一(埼玉県環境科学国際センター 総長)
 - 准教授 菅原克生(三菱マテリアル 非鉄材料技術研究所 主任研究員)
 - 教授(兼任) 西村修(東北大学)
 - 准教授(兼任) 中野和典(東北大学)
- (6) [講座ウェブサイト](#)

以上

東北大学大学院¹⁾
工学研究科土木工学専攻²⁾

三菱マテリアル
冠称寄附講座³⁾

